

特定非営利活動法人屋上開発研究会＋公益財団法人都市緑化機構
第21回スカイフロントフォーラム

～都市環境の近未来～

都市再生の切り札としての屋上開発

企画趣旨

第21回となるスカイフロントフォーラムは、とどまることのない都市の再開発の中で、ますます重要となる屋上利用について、斬新でかつサステイナブルな都市の環境整備の近未来を展望するというテーマを取り上げました。

デイベロッパー、建築設計事務所、あるいは開発者、企画者の目線から、屋上という未知にして可能性豊かな空間をどのように活用していったらいいのか、それは都市環境の向上にどのように貢献できるのか。様々な角度から、近未来の都市の再開発の姿を、その可能性を語っていただきます。

業務繁忙の折とは存じますが、多数の皆様のご参加を、お願い申し上げます。

記

第21回スカイフロントフォーラム
～都市環境の近未来～
都市再生の切り札としての屋上開発

開催日：平成28年4月27日(水)

時 間：13:00～16:25(受付開始12:30～)

場 所：日比谷公園・日比谷図書文化館 ホール

開会の挨拶(13:00～13:05)

立石真(たていし まこと) 特定非営利活動法人屋上開発研究会理事長

基調講演：(13:10～13:55)

『都市環境の近未来と屋上開発の可能性』

国土交通省 住宅局官房審議官 杉藤 崇

シンポジウム：(14:00～16:20)

『屋上開発の展望—都市再生の切り札としての屋上開発—』

似内志朗 日本郵政株式会社不動産部門 不動産企画部 部長

高山源一 日本ヒューレット・パッカート株式会社 管理統括 GRE本部
総務部部長

松本 恵 東急不動産株式会社 経営管理統括部 広報・CSR 推進部
CSR推進グループ 課長補佐

飯塚 宏 株式会社日建設計エンジニアリング部門
設備設計グループ シニアエキスパート

コーディネーター 三坂育正 日本工業大学建築学科教授

閉会の挨拶(16:20～16:25)

興水肇(こしみず はじめ) 公益財団法人都市緑化機構理事長

* 当日の都合により、講演者の発言順・時間・及びタイトルが変更される場合があります。

参加者:ディベロッパー、ゼネコン、ハウスメーカー、造園業者、設計会社、資材メーカー、
施主、学生、一般聴講者ほか

定員: 200名

参加費:	屋上開発研究会会員/都市緑化機構会員	3,000 円(当日5,000 円)
	会員紹介	3,000 円(当日5,000 円)
	一般	4,000 円(当日6,000 円)
	学生	1,000 円(当日2,000 円)

申し込み: 別紙お申込用紙に必要事項を記入のうえ、事務局まで FAX または E-メール
添付でお送りください。

2016年3月1日~2016年4月13日

お申し込み先着順で、定員になり次第締め切ります。

聴講券: 受付番号を押印した申込書を聴講券として FAX で返送しますので、当日ご持
参ください。

【建築 CPD/造園 CPD】(申請予定)

このフォーラムは【建築 CPD】の認定プログラムとして「4」単位が認定されます。

【造園 CPD】の認定プログラムとして「3.5」単位が認定されます。

《会場案内図》

日比谷図書文化館 大ホール 東京都千代田区日比谷公園1-4

地下鉄千代田線【霞が関】C4出口 徒歩5分 丸ノ内線【霞が関】B2出口 徒歩5分

日比谷線【霞が関】B2出口 徒歩5分 三田線【内幸町】A7出口 徒歩3分



参加費お振込み先: 三菱東京 UFJ 銀行 四谷支店 普通口座 1076865
特定非営利活動法人 屋上開発研究会 代表 立石 真

懇親会のご案内

フォーラムの終了後に場所を移して講師と親しくお話する懇親会を予定しております。この機会に是非お仲間と一緒にご参加ください。

とき **17:00～19:00**
ところ 「LIBRARY DINING」
日比谷図書文化館 ホール すぐ隣
参加費 **4000円**

フォーラムお申し込みの際にご予定をお知らせください。
懇親会の参加費は、当日懇親会場でお受けいたします。

特定非営利活動法人屋上開発研究会 事務局
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル B136
T03-6205-4071 F03-6205-4072

《講師プロフィール》

似内志朗(にたない しろう)

日本郵政株式会社不動産企画部 部長

1984年から郵政省官房建築部で郵便局・メルパルク・さいたま新都心等の建築設計、1999年からゼロエネルギー郵便局の企画設計、戦略的ファシリティマネジメント導入を担当。2004年日本郵政事業開発部で新規事業開発・企業提携などを担当。2009年10月より現職。丸の内JPタワー(KITTE)、JPタワー名古屋、大宮JPビルディングなどのプロジェクト開発企画を担当。一級建築士、認定ファシリティマネジャー他。

高山源一(たかやま げんいち)

日本ヒューレット・パッカー株式会社 グローバルリアルエステート本部 総務部 部長

1981年横河・ヒューレット・パッカー株式会社(現、日本ヒューレット・パッカー株式会社)入社、計測部門生産管理部、資材部を経て、1988年より総務部、1990年神戸事業所開設PJでも庭園や、カフェテリア設計に関与、1995年阪神淡路大震災では、震災対策本部、1999年に本社総務課長で東京に帰任、2009年より本社移転PJに関与、東京都内に点在していた5か所のオフィスから2011年6000人を集約し、75%がFA(フリーアドレス)の本社オフィス設計に関与、現職。総務分野27年の経験から社食運営に精通し、「社食の神様」の呼び名も。宏道流華道教授でもある。

松本恵(まつもと めぐみ)

東急不動産株式会社 経営管理統括部 広報・CSR推進部 CSR推進グループ 課長補佐

横浜国立大学工学部建築学科卒 東急不動産入社 一戸建てやマンションなど住宅の計画を担当した後、東急住生活研究所へ出向 不動産・住生活・ライフスタイルに関する調査研究を行う。2010年より現職にて全社の環境・CSRの推進業務に携わる。

一級建築士 CASBEE 建築評価員

飯塚 宏(いづか ひろし)

株式会社日建設計エンジニアリング部門 設備設計グループ シニアエキスパート

日建設計設備設計部門理事・副代表 建築設備総合協会理事・副会長を歴任。現在はNPO 法人給排水設備研究会理事・副会長。

<主な受賞歴>

- ・ 建築学会選奨／東葛テクノプラザ(2000年)。
- ・ 空気調和・衛生工学会第33回学会賞技術賞(1995年)住宅・建築省エネルギー機構第6回「省エネルギー建築賞、建設大臣賞」(1996年)／松下電器産業株式会社情報通信システムセンター

設備一級建築士、技術士(衛生工学)

三坂育正(みさか いくせい)

日本工業大学建築学科教授

筑波大学大学院修士課程環境科学研究科 修了後株式会社竹中工務店入社、主に技術研究所に所属し、在職中に九州大学大学院博士課程総合エネルギー工学研究科にて博士(工学)を取得、その後現職に転職。

ヒートアイランド現象による都市暑熱環境の実態調解明と対策の推進に向けて、都市空間を対象とした温熱環境の実測調査を行っている。現在は、樹木による緑陰や人工的な日よけの設置、ミスト噴霧等の暑熱環境を緩和する技術を効果的に配置することで、夏季の屋外でも人々が様々な活動をするのに適した快適な屋外空間を創出するための研究を進めている。